

2023年12月7日
株式会社日立製作所

日立、全社 AI トランスフォーメーションの推進強化に向け、 「Chief AI Transformation Officer」を新設



左から、各セクターの Chief AI Transformation Officer に就任した貝森 公大、三溝 勝広、吉田 順

株式会社日立製作所(以下、日立)は、急速に進化する生成 AI を日立全社の成長エンジンとして積極的に活用し、業務の生産性を飛躍的に向上させるとともに新たな事業機会を創出する生成 AI を活用したトランスフォーメーション(AI トランスフォーメーション)を社内外で推進しています。今後、さらに取り組みを強化していくため、各事業領域における AI トランスフォーメーションの推進責任者として、「Chief AI Transformation Officer」を12月1日付で新設し、グリーンエネルギー&モビリティセクター、コネクティブインダストリーズセクター、デジタルシステム&サービスセクターの3セクターそれぞれにおいて、貝森 公大、三溝 勝広、吉田 順が就任しました。

3人の Chief AI Transformation Officer は、それぞれの事業領域において高度な業務知見を有するプロフェッショナルとして、AI トランスフォーメーションの全社戦略を各セクター内で浸透させるとともに、それぞれの業務知見を生かすことでプロジェクトの実効性を高め、各セクターにおける生産性向上などの成果の刈り取りをリードしていきます。

■背景

生成 AI は、イノベーション創出を強力にアシストする次世代のキーテクノロジーの一つであり、日立は、お客さまや社会への価値提供と、グループ全体での社内業務プロセス変革の両軸で、生成 AI の利活用を積極的に推進しています。お客さまに対しては、2023年5月には、「Generative AI センター」を設立し、安全・有効に利活用するためのガイドライン策定やユースケースの創出などに取り組みながら、お客さまのニーズに合わせてコン

サルティングや環境構築・運用支援サービスなどを提供し、さまざまな業種のお客さまとの協創を推進しています。

また、日立グループ内では、生成 AI による社内のプロセス変革をめざす全社プロジェクトを、代表執行役 執行役副社長 デジタルシステム&サービス統括本部長 徳永 俊昭をトップに推進しており、システム開発やカスタマーサービスの生産性向上と高度化に取り組んでいます。例えば、生成 AI を適用した際の、コード生成やテストの効率化、安全性の考察などソフトウェア開発の生産性向上に向けた研究・検証を推進するとともに、過去の問い合わせや業務マニュアルを生成 AI と連携することで類似例を調査する時間を短縮し迅速な保守オペレーションにつなげるなどカスタマーサービスの高度化にも注力しています。

今後、全世界で約 32 万人の日立グループ全社においてトライアルを積み重ね、その経験や技術をお客さまとの協創活動にも生かし、サステナブルな社会の実現に向けたさまざまな課題解決やイノベーションの創出に取り組む AI トランスフォーメーションを加速させていきます。

■Chief AI Transformation Officer のミッション

今回新設した「Chief AI Transformation Officer」は、AI トランスフォーメーションの全社戦略の各セクター内での連携、浸透を担い、業務知見に基づいて各セクターの AI トランスフォーメーションの実行をリードします。

また、セクター間のハブとなり、各セクターの業務での実証結果や技術・ノウハウをシームレスに共有し、ベストプラクティスの蓄積や、さまざまな知見の掛け合わせによるシナジー創出を促進することで、生成 AI による社内プロセス変革をめざす全社プロジェクトの取り組みを加速させます。さらに、生成 AI を活用したイノベーションを生み出すため、社員の創造的な思考・スキルの醸成やマインドシフト、AI トランスフォーメーションに対する理解浸透による組織文化の改革にも取り組んでいきます。

■Chief AI Transformation Officer のプロフィール

名前	肩書と経歴(発表時点)
貝森 公大 (かいもり・きみひろ)	<u>グリーンエネルギー & モビリティ戦略企画本部 戦略企画室 室長</u> 1998 年に日立製作所に入社。原子力事業部においてプロジェクトマネジメントに従事し、設計から建設まで数多く経験。2014 年より 5 年間英国に駐在し、EPC コントラクターおよび事業開発側の両方の立場を経験。2022 年より現職で、グローバルオペレーション可能な組織のガバナンス構築・実行をリード。セクター内外のインテグレーション、シナジー創出にも積極的に取り組む。
三溝 勝広 (さみぞ・かつひろ)	<u>インダストリアルデジタルビジネスユニット デジタルソリューション事業統括本部</u> <u>エンタープライズソリューション事業部 事業主管</u> 1993 年に日立製作所に入社。入社以来、一貫して、官公庁、自動車、医薬、製造業など幅広い業界でシステム開発・導入・DX 推進プロジェクトを多数推進。2022 年よりコネクティブインダストリーズセクターにて“プロダクト×OT×IT”を活用した経営視点の全体最適化を推進。

<p>吉田 順 (よしだ・じゅん)</p>	<p><u>デジタルエンジニアリングビジネスユニット Data & Design 本部長 兼</u> <u>Generative AI センター センター長</u> 1998年に日立製作所に入社。2012年にAI/ビッグデータ活用事業を立ち上げ、AIやデータ活用プロジェクトを多数推進。2021年より、トップデータサイエンティストを集結した Lumada Data Science Lab.の co-leaderとして、Lumada 事業拡大の加速と人財育成の強化に取り組んできた。現在は、Generative AI センターのセンター長として、生成 AI を活用したプロジェクトをリード。</p>
---------------------------	---

■「生成 AI」に関するウェブサイト

https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/spcon/generative_ai/index.html

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 Generative AI センター事務局

お問い合わせフォーム：<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/lumada/jp/general/form.jsp>

以上